

銀杏坂

～輝く薩摩中央～

令和7年7月16日(水) 南日本新聞

令和7年7月16日(水)付け南日本新聞16面「白球」に本校野球部生徒が掲載されましたので、紹介します。



白・球

薩摩中央3年 山口 慶将

最初の打席は絶対に思い切り振り抜くと決めていた。適時打の瞬間はいろいろな思いが爆発して思わずガッツポーズが出た。

捕手として盗塁を刺し、投手として三振も奪えた。肘を痛めて春は仲間に迷惑

連合の絆を忘れない

をかけたので少しでも恩返しできてよかった。やっぱり全力プレーは楽しい。1回戦は連合チーム同士の対戦だった。週末しか集まることができなかったり、練習メニューが限られたりと苦労が分かる。たくさんさんのユニホームがそろい、オールスター戦みたいな試合ができたのは誇り。連合チームで主将を経験して、本当に一人で野球はできないと強く感じた。力を合わせて頑張った絆を忘れないようにしたい。